



▲病院の外観

総合的なリハビリを目指す 口から食べることに力を入れる

医療法人
朝陽会

みすか 美須賀病院



院長 田中 宏明 医師

院長からのメッセージ

リハビリをして自宅へ退院するには歩けるだけではダメ。食事や排泄介助の軽減が自宅退院へ繋がります。



により多くの看護師やリハビリスタッフを配置し、重症の患者さんに対しても対応できる治療環境を整えています。

「その人らしく生きる支援を」 管理栄養士も配置しケア

また平成30年4月から回復期リハビリ病棟に管理栄養士を配置し、栄養面からもリハビリのサポートを始め、患者さんの状態やリハビリ内容に合わせて、患者さんに1人ひとりに必要なカロリー計算を行っています。「在宅退院のためには、ただ歩けるだけでは困難で、食事・排泄が自分で出来るか、いかに介助量を少なくできるかが重要です」と田中院長。現在、そこを重点的に注目して、人でも多くの患者さんが自宅へ帰り、家族の方の負担を軽減し、その人らしく生活ができるサポートすることがモットーです。

中四国初のMRIを導入 高画質な画像を撮影可能

外来では頭痛やめまい、しびれ、認知症なども対応しています。昨年は医療機器を大きく更新しました。12月に新しくなったMRI（1.5テスラ）は、昨年夏に発売開始された

急性期から維持期まで ニーズに応じた医療を

今治城やしまなみ海道を一望できる美須賀病院。昭和26年10月の小松医院開設当初は、内科胃腸科中心の医院でしたが、昭和55年に放射線科、整形外科、麻酔科、循環器科、小児科リハビリテーション科が集合。美須賀病院と名称も変更し、今治市周辺の地域医療に貢献してきました。その後、外科と脳神経外科が加わり、急性期から回復期、

維持期までの患者さんに対応しています。

今治地区、愛媛県下の急性期病院との連携のもと、回復期医療施設として、脳卒中や大腿骨骨折で障がいをもった患者さんを中心にリハビリ治療を行っています。院長の田中宏明医師も脳神経外科が専門で、脳卒中や頭部外傷などの診断・治療に力を注いでいます。

平成19年から開始した回復期リハビリテーション病棟では、現在365日毎日リハビリが出来る体制を完備し、病棟



機種を中四国で初めて導入しました。以前より撮影時間が短縮され、撮影時の音も静かになり、より高画質の画像撮影が可能となりました。11月にマルチスライスCT（80列）も更新し、これまでより少ない被ばく量で、より短時間に身体の広範囲の撮影が可能になりました。どちらの検査も患者さんから好評です。また4年前に骨塩測定装置も更新し、骨粗鬆症などにも対応しています。



▶80列マルチスライスCT装置

医療法人 朝陽会 美須賀病院

☎0898-32-1212

<http://misuka-hp.jp/>

住所 ▶ 今治市黄金町3-4-8
診療科目 ▶ 内科・循環器科・外科・整形外科
脳神経外科・放射線科・麻酔科
リハビリテーション科
休診日 ▶ 土曜日午後・日曜日・祝日
※連絡にて対応

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~13:00	○	○	○	○	○	○	休
14:00~18:00	○	○	○	○	○	休	休

※平日は最終受付17:30、土曜日は12:30